

## 利根川の未来を考えるカムバック・ウナギ・プロジェクト

### ウナギは海と水系全体を結ぶシンボル

## ウナギに関するアンケート調査にご協力をお願いします

### 利根川水系にもう一度ウナギを呼び戻そう！！

利根川水系はかつて天然ウナギの全国有数の産地でした。ウナギは少し前まで、身近な水辺にたくさん生息していた生き物です。捕まえて夕飯のおかず、そんな光景も当たり前でした。しかし今、ウナギは世界的に絶滅が心配されています。利根川水系も例外ではありません。

そこで、ウナギを流域に呼び戻し、豊かな自然を取り戻すための『カムバックウナギプロジェクト』を企画しました。その第一歩がこのアンケート調査です。

この調査でウナギ減少の原因が分かれば、たくさんのウナギを呼び戻すこともできるはず。そして天然ウナギで漁業や地域経済の活性化、水辺文化の再生にも期待できます。

利根川水系のかつての豊かな自然と文化を取り戻すために、どうぞご協力をお願い致します。

#### ★あなたについて★

氏名 \_\_\_\_\_ (よみがな \_\_\_\_\_) 《匿名でも結構です》

性別 男 ・ 女      年齢    才      職業 \_\_\_\_\_

市町村名 \_\_\_\_\_ 在住 \_\_\_\_\_ 年

※転入された方 \_\_\_\_\_ から \_\_\_\_\_ 年に転入

#### ウナギの昔と今

ウナギは海と川や湖とを行き来する生き物です。ウナギが元気に暮らしていくには水源の里山から川・湖・海までの連続した環境が必要です。

かつての利根川水系には豊かな水辺が各地にあり、エサとなる小魚やカエルなどもたくさん生息していました。

その頃の流域住民の暮らし方や、里山、川、湖、海、そして他の生き物たちの様子を、私達に教えて下さい。

ウナギが元気に暮らしていた頃のことを流域のみんなが知れば、川の自然を良くするためにどうしたら良いかも見えてきます。多くの生き物を呼び戻すこともできるはず。



※ アンケートは下記あて、郵送かFAX、メールでご送付下さい。

※この調査に関するお問い合わせ、最終集約先：利根川流域市民委員会 深澤洋子（事務局）  
187-0001 東京都小平市大沼町 7-5-4      T/F 042-341-7524      bbjaga@jcom.home.ne.jp

## 利根川の未来を考えるカムバック・ウナギ・プロジェクト

### ★★★ウナギのいた場所★★★

Q 1 昔、水辺にウナギはいましたか（捕りましたか）？ はい いいえ

Q 2 どんな場所で見ましたか？ 見た場所すべてに○をしてください。

川 小川 農業用水路 水田 ため池 その他（ ）

Q 3 ウナギがいた（ウナギを捕っていた）のは、何年頃のことですか？  
（該当する年代をすべて○で囲んでください。）

昭和30年頃より前 昭和30年代 昭和40年代 昭和50年代

昭和60年代～平成一桁代 平成10年代 平成20年代

Q 4 ウナギがいた場所がわかれば教えてください。

\_\_\_\_\_ 市・町・村 地名

\_\_\_\_\_ 市・町・村 地名

Q 5 昔、うなぎがいた水辺の様子、そこで見られた他の魚や生きもの、植物などを教えてください。

### ★★ウナギと食★★

Q 6 昔は、ウナギを年に何回くらい、どのようにして食べていましたか？

Q 7 昔、ウナギを食べたのはどういう時でしたか？

利根川の未来を考えるカムバック・ウナギ・プロジェクト

★★★ウナギのあれこれ★★★

Q 8 ウナギについて一番思い出に残っていることを教えてください。

Q 9 利根川でなぜウナギが少なくなったと思いますか？

(複数選択可です。)

ウナギの乱獲    シラスウナギの乱獲    利根川河口堰の建設    霞ヶ浦開発

利根川のダム建設    利根大堰の建設    利根川の護岸整備

農業用水路の三面コンクリート化    水田の乾田化

その他 (具体的に\_\_\_\_\_)

Q 1 0 どうやったら湖や流域にウナギを増やすことができると思いますか？

ウナギについて何かご意見があればお書きください。

最後に、もっと詳しくお話を聞きにいつでもよいですか？

はい (電話 \_\_\_\_\_)    いいえ

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。